

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和7年度) 2025年

9	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	12	27	土	8:30	1300	五味ヶ谷市民の森	16名
活動名称	門松教室					報告者：吉井 優	

1、活動目的

私達が市民管理協定で整備している五味ヶ谷市民の森は、竹林と雑木林からなり、近隣住民の散策路として親しまれています。この森を子供たちに積極的にアピールし、楽しさを通して森の大切さを理解してもらいます。市民の森の竹林で発生する竹を有効利用する目的で、門松教室を実施しています。家族で協力して門松を作ることで、家族の絆が深まり、地域の方々とのふれあいもできます。杉下地域支え合い協議会、広域親子劇場比企北いるま、にも協力していただき地域との連携を図ります。

2、活動内容ほか

コロナ騒動が終わりましたが、準備・片付けが楽なこともあり、五味ヶ谷市民の森を会場に開催しました。いつもどおり、寒さ対策として、ドラム缶で竹を燃やしました。暖をとる貴重な熱源として好評でした。9時から受付開始し、受付をすました参加者にも手伝ってもらい、会場の準備を行いました。9時半から開会式を行い、イベントの説明、門松の作り方を説明しました。10時から門松づくり開始です。竹選びから始めました。3本の竹をそれぞれ好みの長さに切断し、15cmの畳表で包み、縄で結びます。これを左右に1組ずつ作ります。

これに松と梅と南天と紙飾りをさして門松が完成します。11時半過ぎにほぼ全員の門松が完成し、集合写真を撮った後、全員で後片付けをして、12時にはイベント終了となりました。

3、評価：

45組の募集でしたが、インフルエンザの影響か6組キャンセルが出て43組の参加となりました。子供68名、大人60名の体験となりました。大勢の方が参加してくれましたが、混乱することなく、イベント終了し、参加者が満足して帰宅してくれて、スタッフも大満足です。

4、課題

昨年同様、カインズでは、2.5分の藁縄しか販売しておらず、それしか購入できなかった。来年こそは2分の縄を早くから注文して手に入れることとしたい。

5枚のホワイトシートに、1名の指導者がついたが、1シート8組から9組が作業するため、十分に指導援助ができなかった。坂戸の一二三は、3組に一人の指導員がついて32組に対応していたが、当クラブでは、会員の参加が少ないため規模を減らすか、坂戸一二三富の会に応援を求めるしかなくなりました。

門松教室は、会員の指導員とスタッフに多くの謝礼が支給されるイベントです。より多くの会員に参加をしてもらい指導員として活躍してほしいと思います。

<里山参加会員>

柳川、牛島、井上、金、石樽、阿部、佐野、風祭、
田中、吉富、松井、小沼、小澤邦、上見、吉井、石川

<活動写真>

